学校番号	1004

平成３１年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽Ⅰ　教育芸術社						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器の演奏」「音楽づくり」「音楽の鑑賞」の４分野について幅広く、年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストを中心に評価します。
・音楽の学習は、クラスの仲間とともに実際に歌ったり楽器をやってみたり、考えたりすることで深まっていきます。さまざまな音楽に触れ、ともに創り、みなさんの感性や心が豊かなものになることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽をかたちづくっている要素に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽や音楽をかたちづくっている要素を知覚し、それらが生み出す働きを感受して、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて、どのように音楽をつくるのかについて、思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	音楽や音楽をかたちづくっている要素を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感受して、その味わいを批評文にして他者に伝えている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 作品の提出	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自然な声で、表現を工夫して歌おう	【歌唱】 校歌 翼をください 野ばら	○	○	○		a:自然な声で、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:それぞれの音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦！	【器楽】 カントリーロード	○		○		a:ギターの音色に関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な演奏の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ボイス・アンサンブルを楽しもう	【創作】 野菜のきもち	○	○			a: リズムの重なりに関心をもち、イメージをもって創作する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの重なりを知覚・感受しながら、どのようにアレンジするかについて、思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	合唱の響きを感じ取って、表現を工夫して歌おう	【歌唱】 合唱曲(混声3部)	○	○	○		a: パートの重なりやアンサンブルに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:パートの重なりを知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	箏に親しむ	【器楽】 さくらさくら	○		○		a:箏の音色や旋律の重なりに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な演奏の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ミュージカルへの招待	【鑑賞】 サウンド・オブ・ミュージック	○			○	a: それぞれの音楽や心情に関心をもち、主体的に鑑賞しようとしている。 d: 音楽が演奏されているシーンや心情を知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、その味わいを批評文にして他者に伝えている。	観察 ワークシート
	リコーダーでアンサンブルを楽しもう	【器楽】 サウンド・オブ・ミュージック わたしのお気に入り すべての山に登れ エーデルワイス	○		○		a: リコーダーの音色に関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な演奏の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本語のもつ美しさを生かして歌おう	【歌唱】 待ちぼうけ この道	○	○	○		a: 日本語の響きに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 日本語の響きや伴奏を知覚・感受しながら、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。 c: 歌詞や楽曲の背景を生かした表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	ハーモニーを大切にして、表現を工夫しながら合唱しよう	【歌唱】 合唱曲(混声3部)	○	○			a: パートの重なりやアンサンブルに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:パートの重なりを知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	さまざまな国や地域の音楽を聴いてみよう	【鑑賞】 日本の民謡 諸外国の音楽	○			○	a: それぞれの国と地域の音楽の音色や楽器に関心をもち、主体的に鑑賞しようとしている。 d: 我が国の郷土の音楽や諸外国の音楽について、それぞれの音楽を形づくっている要素を知覚し、それが生み出す雰囲気を感受しながら、その味わいを批評文にして他者に伝えている。	観察 ワークシート
	モチーフをもとに音楽をつくろう	【創作】 旋律づくり	○	○	○		a: モチーフや音色に関心をもち、イメージをもって創作する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: モチーフや音を知覚・感受し、どのように創作するかについて、思いや意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	曲の特徴をいかして、グループアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ピアノ、リコーダー、ギターや打楽器類などの楽器を用いた合奏曲	○	○	○		a: 楽器の響きに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 楽曲を形づくっている要素や楽器の音色を知覚・感受しながら、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 c: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な演奏の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。